



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

電子情報通信学会 特別号 April 2012

情報・システムソサイエティ誌

IEICE INFORMATION AND SYSTEMS SOCIETY JOURNAL

## 平成 24 年度ソサイエティ活動

情報・システムソサイエティ次期会長  
萩田 紀博  
A T R



情報・システムソサイエティ(以下、ISS と略す)は、コンピュータによる情報処理・システムを中心とし、通信・人間とも融合した学術分野に関する専門家集団です。本ソサイエティは、会員に研究発表と交流の場を提供するとともに、社会と技術分野の持続的な発展や我が国が抱える社会問題の解決にも貢献して行きます。平成 24 年度は、情報・システム研究における日本での中心的活動母体となるように、中長期的な視点に立って、ISS 活動が国内外に見えるように、「見える化」に重点を置いた、次の課題を進めて行きます。

### (1)研究会活動の活性化と ISS 内体制強化

ソサイエティ活動の中核を担うのは研究専門委員会です。これまで、近隣諸国と連携した研究会開催、国際会議の主催・共同主催、他学会と連携などのトライアルが ISS のグローバル化に大きく貢献してきました。今年度は世界的な技術動向や我が国が抱える社会問題を見据えた柔軟な研究会活動を展開するために、研究専門委員会、技術会議、運営委員会との連携・協調体制を強化します。大震災に関わる問題に対応した具体策として、地域安全学会と連携して、防災・減災に効果的な情報システムのあり方を検討する合同研究会活動を開始します。その紹介も兼ねて、総合大会で「防災システム研究者と情報システム研究者の対話」と題するソサイエティ特別企画を実施しました。

### (2)会員サービス・会員増強施策の強化

中長期的な視点から会員サービスの充実と会員増強施策を実行します。国内外でソサイエティ活動の見える化を推進するために、ビジネス活動の生産性向上に貢献しているベンチャー企業会員やグローバルな会員が

参加しやすい体制を作ります。

### (3)質の高い論文誌を生み出す仕組みづくり

情報・システム研究における日本での中心的活動母体となるためには、中長期的視点に立って、段階的に論文誌の質を向上させる仕組みづくりが不可欠です。平成 23 年度から英論文誌の質を向上させるために石田会長が立ち上げた英文ジャーナル検討ワーキンググループで、インパクトファクタ向上策、オープンアクセス・電子ジャーナルの可能性、収支計画などを検討しています。既に、複数の研究専門委員会からオープンアクセスを含む魅力的な提案が開始しています。和文論文誌についても、人気の高い学生論文特集号の企画や質の高い論文を生み出す活性化策などを検討して行きます。

### (4)これからのソサイエティ誌の役割検討

平成 8 年度に創刊したソサイエティ誌も 17 年目を迎えました。この間に生まれた様々なソーシャルメディアを利用した、会員への新しい情報提供・共有方法について検討して行きます。

### (5)技報電子化の推進

研究会の活動の見える化を促進するために、平成 24 年度は技報の電子化システムを構築し、トライアル運用と利用状況分析・アンケートなどを実施し、3 年後の実運用を目指します。

### (6)情報・システムソサイエティの運営体制の強化

平成 23 年度から、会長、次期会長、副会長、庶務幹事を中心に運営幹事会を定期的に開催して、運営方針や特定の施策に的を絞った議題を行います。

以上の課題に対して、会員の皆様、各研究専門委員会のご協力とご理解を宜しくお願いいたします。

## 情報・システムソサイエティ誌とは？

情報・システムソサイエティが 1996 年度より年 4 回発行しているソサイエティ会員向けの情報誌です。

内容は、ソサイエティからのお知らせ、研究専門委員会の動向、研究室紹介、フェローの方々による寄稿、連載コラムなど、会員の皆様の役に立つ情報を満載しております。

特に、毎号の巻頭言には、電子情報通信分野の著

者の方々から寄稿を頂き、好評を博しております。今後も学生や企業の方などより幅広い方々に役立てて頂けるよう、ますます内容の充実を図る予定です。

情報・システムソサイエティ誌は、情報・システムソサイエティに登録をすれば自動的に送付されます。以下でも更に詳しく御紹介します。

### ISS 達人へのステップ 1

#### 情報・システムソサイエティ (ISS) への登録を

電子情報通信学会では 1995 年 4 月よりソサイエティ制になり、会員はいずれかのソサイエティに属することになっています。

これから学会に入会される方はもちろん、複数のソサイエティへの登録を希望される方も、ぜひ ISS に御登録下さい。なお、複数に登録する場合の ISS ソサイエティ

誌及びオンラインジャーナル購読の追加登録料は 3,500 円(学生は 2,000 円)です。ISS への追加登録を御希望の方は、早急に下記の様式で御連絡下さい。

購読のほかにも ISS の様々な特典が利用できます。また、ISS 論文誌(冊子体)を購読する場合はステップ 2 を参照して下さい。

### ISS 達人へのステップ 2

#### 情報・システムソサイエティ (ISS) の論文誌は和英 2 種類

基本登録ではオンラインジャーナル(和・英論文誌)の閲覧が可能です。

また、論文誌はオンライン版以外に冊子体でも購読することができます。購読料は 1 誌目は、4,000 円、2 誌目は 10,000 円です。バックナンバーの定価より格安で購

読できます。

追加購読を御希望の方は早急に下記の様式で御連絡下さい。

なお、和文論文誌 D 及び英文論文誌 ED のキーワードは下記のとおりです。

#### キーワード：

情報システム基礎／計算機システム／ソフトウェアシステム／ソフトウェア工学／データ工学、Web 情報システム／情報ネットワーク／ディペンダブルコンピューティング／人工知能、データマイニング／ヒューマンコンピュータインタラクション／オフィスインフォメーションシステム、e-ビジネスモデリング／教育工学／福祉工学

パターン認識／音声、聴覚／画像・映像処理／画像認識、コンピュータビジョン／コンピュータグラフィックス／マルチメディア処理／自然言語処理／バイオサイバネティクス、ニューロコンピューティング／生体工学／音楽情報処理／感性情報処理

連絡先： E-mail: service@ieice.org Phone: 03-3433-6691 Fax: 03-3433-6659

名前 (会員番号)

所属

連絡先 〒

Phone:

Fax:

E-mail:

ISS ソサイエティ追加 (オンラインジャーナルとソサイエティ誌)

論文誌 (冊子体) 購読追加 (和文論文誌 D 英文論文誌 ED)

\*なお、各誌の送付は登録処理後からとなります。バックナンバーの送付は致しません。

## ISS 達人へのステップ 3

## 情報・システムサイエティ (ISS) 所属研究会の年間登録を

ISSには下記の23の第一種研究会があり、年間数回の研究会にあわせその技術報告書が出版されています。年間登録を行うと技術報告書が送付され、毎回会場で購入するよりも安価になります。ぜひ御登録をお薦めします。電子情報通信学会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/books/kenkyuhoukoku.html>) より御登録下さい。

なお、各研究会の研究分野の詳細については <http://www.ieice.org/jpn/kensenmon4.html> を御覧下さい。

研究会(記号)	予約価(円)	委員長/副委員長
MEとバイオサイバネティクス MBE	11,025	吉田 正樹(阪電通大) 小池 康晴(東工大)
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム LOIS	10,185	阿部 匡伸(岡山大) 若原 俊彦(福岡工大)
画像工学 IE	12,285	如澤 裕尚(NTT) 藤井 俊彰(名大), 井口 和久(NHK)
言語理解とコミュニケーション NLC	3,780	那須川 哲哉(日本IBM) 山本 和英(長岡技科大), 増市 博(富士ゼロックス)
コンピュータシステム CPSY	8,085	天野 英晴(慶大) 安里 彰(富士通), 吉永 努(電通大)
コンピューテーション COMP	7,245	浅野 哲夫(北陸先端大) 牧野 和久(東大)
人工知能と知識処理 AI	3,675	栗原 聡(阪大) 松原 繁夫(京大), 菅原 俊治(早大)
ソフトウェアサイエンス SS	7,455	関 浩之(奈良先端大) 中島 震(NII)
データ工学 DE	3,780	中野 美由紀(東大) 是津 耕治(NICT), 森嶋 厚行(筑波大)
パターン認識・メディア理解 PRMU	12,915	山田 敬嗣(NEC) 栄藤 稔(NTTドコモ), 大町 真一郎(東北大)
ディペンダブルコンピューティング DC	10,710	米田 友洋(NII) 梶原 誠司(九工大)
ニューロコンピューティング NC	12,915	岡田 真人(東大) 西井 淳(山口大)
知能ソフトウェア工学 KBSE	5,985	中谷 多哉子(筑波大) 松浦 佐江子(芝浦工大)
音声 SP	10,710	速水 悟(岐阜大) 山下 洋一(立命館大)
教育工学 ET	7,455	中村 直人(千葉工大) 宮寺 庸造(東京学芸大)
医用画像 MI	15,015	佐藤 嘉伸(阪大) 清水 昭伸(東京農工大), 森 健策(名大)
ソフトウェアインタプライズモデリング SWIM	5,355	堀米 明(フィジオ) 野地 保(東海大)
リコンフィギュラブルシステム RECONF	7,560	安永 守利(筑波大) 弘中 哲夫(広島市大), 京 昭倫(ルネサスエレクトロニクス)
情報通信システムセキュリティ ICSS	10,815	森井 昌克(神戸大) 三宅 優(KDDI 研), 菊池 浩明(東海大)
情報論的学习理論と機械学習 IBISML	9,765	山西 健司(東大) 上田 修功(NTT), 樋口 知之(統計数理研)
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント EMM	12,705	馬場口 登(阪大) 越前 功(NII), 西村 明(東京情報大)
クラウドネットワークロボット CNR	6,930	安西 祐一郎(慶大) 萩田 紀博(ATR), 土井 美和子(東芝)
サービスコンピューティング SC	4,935	村土 陽平(NICT) 石川 冬樹(NII)

FIT2012 第11回情報科学技術フォーラム  
 査読付き論文・一般論文 発表募集案内



【会期】2012年9月4日(火)～6日(木)  
 【会場】法政大学(東京都小金井市梶野町3-7-2)

FIT2012 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

FIT 査読付き論文受付期間: 2012年3月7日(水)～4月18日(水)  
 FIT 一般論文 受付期間: 2012年4月25日(水)～5月24日(木)

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティは、本学会のヒューマンコミュニケーショングループならびに情報処理学会と 2002 年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT:Forum on Information Technology)」を開催しており、2012年9月に第11回目を法政大学で開催します。

論文の種類には、「FIT 査読付き論文」と「FIT 一般論文」があり、「FIT 査読付き論文」で不採録となった論文は「FIT 一般論文」として扱います。「FIT 査読付き論文」の中から、船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞を選定し、表彰します。また、論文の種類に関わらず、若手研究者を対象に優れた発表を選定し、FIT ヤングリサーチャー賞として表彰します。

また、FIT2009 より「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度を設けました。最大ページ数を論文誌(フルペーパー)と同等の8ページ程度まで広げて、「FIT 査読付き論文」の申込と併せて「論文誌への推薦希望」も受付致します。みなさま是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会の論文審査に基づき選ばれます(3件程度)。賞金は20万円です。
FIT 論文賞	FIT 査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会の論文審査に基づき選ばれます(7件程度)。賞金は5万円です。
FIT ヤングリサーチャー賞	FIT 開催年の12月31日現在で33歳未満の講演者(FIT 査読付き論文及び FIT 一般論文)の中から、特に優れた発表をされた方が選ばれます。賞金は3万円です。

多彩なイベントが企画され広範な分野の研究者が一堂に会する本フォーラムは、皆様にすばらしい研究成果発表の場を提供いたします。奮って御応募下さい。

○● 電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ誌編集委員会 ●○

- 副会長(編集会議担当) 加藤 直人 (NHK katou.n.g@nhk.or.jp)
- 井宮 淳 (千葉大 imiya@faculty.chiba-u.jp) 入江 英嗣 (電通大 irie@is.uec.ac.jp)
- 編集委員長 宮崎 修一 (京大 shuichi@media.kyoto-u.ac.jp)
- 松井 知子 (統数研 tmatsui@ism.ac.jp) 藤田 茂 (千葉工大 fujita@cs.it-chiba.ac.jp)
- 編集幹事 高田 喜朗 (高知工科大 takata.yoshiaki@kochi-tech.ac.jp)
- 門田 啓 (NEC a-monden@bk.jp.nec.com) 林 良一 (NTT hayashi.ryoichi@lab.ntt.co.jp)
- 山川 宏 (富士通研 ymkw@jp.fujitsu.com) 高橋 正樹 (NHK takahashi.m-iu@nhk.or.jp)
- 特任編集幹事 金子 晴彦 (東工大 hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp)
- 菅谷 史昭 (KDDI 研 fsugaya@kddilabs.jp) 坪下 幸寛 (富士ゼロックス yukihiro.tsuboshita@fujixeroc.co.jp)
- 西脇 大輔 (NEC d\_nishiwaki@da.jp.nec.com) 中谷 多哉子 (筑波大 nakatani@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp)
- 児玉 和也 (NII kazuya@nii.ac.jp) 小川 哲司 (早大 ogawa@ppl.cs.waseda.ac.jp)
- 松居 辰則 (早大 matsui-t@waseda.jp) 森田 裕介 (早大 ymorita@waseda.jp)
- 企画広報幹事 菅 幹生 (千葉大 mikio.suga@faculty.chiba-u.jp)
- 宮野 博義 (NEC 情報システムズ h-miyano@cq.jp.nec.com) 須栗 裕樹 (宮城大 suguri@myu.ac.jp)
- 和文論文誌編集副委員長 泉 知論 (立命館大 tizumi@se.ritsumei.ac.jp)
- 山田 武士 (NTT yamada.tak@lab.ntt.co.jp) 鹿島 久嗣 (東大 kashima@mist.i.u-tokyo.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 鶴木 祐史 (北陸先端大 unoki@jaist.ac.jp)
- 大町 真一郎 (東北大 machi@ecei.tohoku.ac.jp) 神原 誠之 (奈良先端大 kanbara@is.naist.jp)
- 編集委員 石川 彰夫 (KDDI 研 ao-ishikawa@kddilabs.jp)
- 吉野 公三 (産総研 yoshino-k@aist.go.jp) 田仲 正弘 (NICT mtnk@nict.go.jp)
- 江崎 喬 (電子商取引安全技術研究所 ezaki@ecsec.jp) 井澤 淳 (ATR jizawa@atr.jp)
- 久保田 彰 (中央大 kubota@elect.chuo-u.ac.jp)